

町民と議会をむすぶ

町議会 だより

【12月定例会】

施政方針及び議案審議 …… 2～3

委員会審議

総務厚生常任委員会 …… 4

文教経済常任委員会 …… 5

一般質問 4人が登壇 …… 6～9

 池田町

VOL. 28

令和6年2月1日発行

令和8年度完成予定の新庁舎・図書館建設に向けて、池田町産杉を使った柱材などの製材が始まりました。池田町有林をはじめ、町内各地から優良な材が搬出され、製材されています。池田の風土が育んだ木材で建てられる新庁舎がどのようになるか楽しみです。

12月定例会

(令和5年12月19日～21日開催)

12月定例会が12月19日から21日の3日間にわたり開催され、令和5年度一般会計及び各特別会計、各条例の制定および一部改正、工事等請負契約など計12議案が提出され、全議案可決されました。

議案第67号	専決処分の承認を求めることについて(専決第9号 令和5年度池田町一般会計補正予算(第9号)) …国の給付金1世帯あたり7万円分を早急に支給するため1,548万4千円を専決処分
議案第68号	令和5年度 池田町一般会計補正予算(第10号) …ウッドラボの夏場の温度上昇を抑制するため遮熱塗料の塗装工事費869万円など追加補正
議案第69号	令和5年度 池田町国民健康保険特別会計補正予算(第4号) …ほっとプラザの消防用設備の修繕費等で80万9千円を追加補正
議案第70号	令和5年度 池田町国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第4号) …消費税の中間納付額33万円を追加補正
議案第71号	令和5年度 池田町下水道事業特別会計補正予算(第4号) …消費税の中間納付額等29万3千円を追加補正
議案第72号	令和5年度 池田町介護保険特別会計補正予算(第3号) …介護保険の住宅改修等の利用件数が増えたため、保険給付費185万2千円を追加補正
議案第73号	池田町集落定住支援住宅の設置及び管理に関する条例の制定について …若者世帯の集落への住宅促進と地域活力の創出を目的とする町営住宅について入居に係る必要な事項を定める
議案第74号	道のオアシス フォーシーズンテラス設置及び管理に関する条例の制定について …道のオアシスフォーシーズンテラスについて、施設の管理・運営に関し、必要な事項を定める
議案第75号	池田町国民健康保険税条例の一部改正について …出産予定又は出産した国民健康保険加入者について、産前産後の一定期間保険税を減額する制度が令和6年1月から始まることから所要の改正を行う
議案第76号	池田町手数料徴収条例の一部改正について …戸籍謄本等の交付請求が本籍地以外の市区町村の窓口でも行えるように所要の改正を行う
議案第77号	町道路線の認定について …町営住宅団地内の道路を町道として管理するため
議案第78号	工事請負契約の締結について …能楽の里文化交流会館解体工事の工事請負契約を締結するため

11月臨時会

(令和5年11月24日開催)

11月臨時会が、11月24日に開催され、専決処分および人事院勧告に基づいた人件費の補正として、令和5年度一般会計補正予算、各特別会計、条例改正など11議案が審議し、全議案可決されました。

議案第56号	専決処分の承認を求めることについて(専決第8号 令和5年度池田町一般会計補正予算(第7号)) …冠山峠道路開通式典等に関する費用として100万円を専決処分
議案第57号	令和5年度 池田町一般会計補正予算(第8号) …人事院勧告に基づく人件費を追加補正
議案第58号	令和5年度 池田町国民健康保険特別会計補正予算(第3号) …人事院勧告に基づく人件費を追加補正
議案第59号	令和5年度 池田町国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第3号) …人事院勧告に基づく人件費を追加補正
議案第60号	令和5年度 池田町簡易水道特別会計補正予算(第3号) …人事院勧告に基づく人件費を追加補正
議案第61号	令和5年度 池田町下水道事業特別会計補正予算(第3号) …人事院勧告に基づく人件費を追加補正
議案第62号	令和5年度 池田町介護保険特別会計補正予算(第2号) …人事院勧告に基づく人件費を追加補正
議案第63号	池田町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正について …人事院勧告に基づき、特別職の給与や期末手当の額を改正
議案第64号	池田町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について …人事院勧告に基づき、一般職の給与や期末手当、勤勉手当の額を改正
議案第65号	池田町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について …人事院勧告に基づき、任期付職員の給与や期末手当の額を改正
議案第66号	池田町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について …人事院勧告に基づき、会計年度任用職員の給与の額を改正

町長施政方針及び諸事の報告



12月定例会

「冠山峠道路開通に伴う課題対応」

11月19日に待望の冠山峠道路が開通しました。今後、この道路を利活用することで池田町の振興に役立てるよう努めてまいります。一方で、開通に伴う往来が激しくなったことによる課題や改善点、不安も表面化したことから、町といたしましては、国や県、県警察や公安等とも協議を図り、諸対応を進めてまいりたいと考えております。

また、不法行為や自然破壊、乱開発など、大きな懸念もあることから、これらの懸念に対処するため、早急な予防と防止への条例等の整備が必要と考えております。

「新年度へ向けての事業編成」

国を挙げての重要課題である子育て教育支援に関しては、教育委員会や保健福祉課が中心となり、池田町の支援現状を基に、町民意見や全国事例とともに、国の戦略支援策の情勢を睨みながら、協議を重ねております。

また町はこれまで地域や集落自治の高度化、持続化へのソフト支援が中心となっており、内発的動機の引き出しが難しいとの意見が区長会等から聞かれることから、行動誘導型、地域経営型支援について検討を加えたいと考えております。その他、人口減少や人手不足等の対応についても、事業検討を図るとともに、農業者からの指摘を受けている農業生産における栽培基準なども整理改善を図りたいと考えております。

「道のオアシス フォーシーズンテラス整備」

ビジターセンターにおける飲食コーナーへのサービス提供プランやテナント募集につきましては、12月13日、町のホームページに掲載するとともに、町広報誌においてもご案内したいと考えております。



▲整備が進むフォーシーズンテラスの工事現場の様子

主 なる 事業

(1万円未満切捨て)

- 戸籍氏名にフリガナを表記する法改正に対応するためシステム改修費……………443万円
- 下地区の新規集落営農法人組織に対し、農業機械等の導入支援として補助金……………1,413万円
- 冠山峠道路開通に伴う来訪者増加の対応として道路や施設の案内看板修正費……………622万円
- 来春オープンする、道のオアシス フォーシーズンテラスの備品購入費……………2,133万円
- そばの郷池田屋の駐車場拡張整備費……………518万円
- こってコテいけだのテラス席整備やレジシステム更新等費……………697万円

総務厚生常任委員会審議

委員長 丸石純一
副委員長 清水龍司

委員
宇野邦弘 松井靖明
富田重弘 岡村 祐

一般会計 補正予算について

〔事業説明〕

総務財政課長 工事請負

費277万円は、交流会館解体により設置してあった河川カメラを移設する。またケーブルテレビスタジオのサーバーリース契約更新、エアコン入れ替えに317万円を計上。

旅費26万円は限られた地域に電気を供給する小売電気事業（自治体新電力）の視察に行く予算。工事請負費869万円は、ウッドラボ屋根遮熱塗装工事費として計上。

〔質疑応答〕

清水議員 電気の地産地消研修とあるが、研修の行先はどこなのか。

総務財政課長 自治体新電力の視察先は、鳥取県米子市。また東京で開催される脱炭素関係の環境フェアを視察する。

宇野邦弘議員 ウッドラボの遮熱塗装工事は、国県の支出金が434万円なのか。

総務財政課長 工事請負費は、ウッドラボ建屋内が夏場高温となり、熱中症で健康被害が発生する危険性があるため、屋根に遮熱塗装し対策を講じる。

塗装工事費の2分の1が県の支出金である地域未来応援プロジェクト補助金を活用。これは観光関係の施設等の整備や修繕に使える補助金。

富田議員 塗装の耐用年数ほどのくらいか。
副町長 耐用年数は約20

年。施工完了は3月または繰越して5月の連休になる見込み。外気温32度時に、建屋内が29度以下に抑えられる見込み。

池田町集落定住支援 住宅の条例について

〔事業説明〕

総務財政課長 水海集落

に整備している一戸建て住宅の設置管理に必要事項を定める。目的は、将来にわたって安心・安全に暮らすことができるよう、地域づくりの担い手となる若者の受け入れを希望し、主体的に受け入れ体制を整える地域に対し、町営住宅の建設を行うもの。

〔質疑応答〕

富田議員 賃借期間が3年間、再契約の2回までとあるが、契約満了後はいかなる理由でも退去しないとしないのか。また見学依頼とはどういうものか。

総務財政課長 初期契約が3年間、再契約が2回可能で、計9年間の居住が基本だが、9年目の際、末子が18歳未満の時は延長が出来る。その間に集落の人と関わりながら、地域内に新居を建ててもらおうか空き家を見つけ、住み替えをしてもらいたい。

居住中の見学に関しては、プライベートな部分もあるので、急にお伺いすることはない。見学希望の方は役場担当に見学したい旨を伝え調整させていただく。

宇野邦弘議員 入居条件の一つに集落の取り組みに参加意欲の高いものがあるが、意志の有無を客観的に見られるのか疑問。また残りの敷地に5戸の宅地は分譲という方法もあるのではないか。

総務財政課長 入居の選考は難しいところだが、丁寧にやり取りする。甲乙つけがたい場合は抽選も考えている。契約期間が3年間なのは、集落活動への参加



▲水海地区の町営住宅

来るのか。
農村政策課長 冬の活用については現在検討中。

道のオアシス フォアシーズンテラスの備品購入費2100万円の 内容。また、来秋以降に費用を追加しているが、なぜか。

〔質疑応答〕

佐野議員 道のオアシスフォアシーズンテラス設置及び管理に関する条例の制定について

農村政策課長 冬

宇野一正議員 駐車場等に設置する防犯カメラの費用は、備品の予算に入っているのか。また設置する場所はどこか。
農村政策課長 防犯カメラ設置費は、建設費に入っている。設置場所は、建物に向けて5か所、外に向けて1か所を予定。管理は、事務所に常時人がいるので管理できる。

清水議員 観光バス3台分の駐車場があるが、岐阜県側から来た場合、出入りがしにくいのではないかと。また、多目的広場にはトイレを設置しないのか。
農村政策課長 大型バスの切り変える範囲は、確保されているので問題ない。トイレは、設置場所をビジ

農村政策課長 固定レジは飲食物販売場に設置。エアレジは事務所から離れた場所での精算に使用する。タブレットは、情報発信等に使用する計画。

宇野一正議員 屋外ステーションは、自由に使えるのか。
農村政策課長 自由に使用できる。イベント等で貸し切りとする。

一般会計 補正予算について

〔質疑応答〕

岡村議員 中山間総合対策支援事業補助金の内容は、

農村政策課長 下地区全体（清水谷・柿ヶ原・持越・野尻）の農地27haを一体で管理できる設備の補助を行う。内容は、育苗ハウス一棟、トフクター一台、田植え機一台、コンバイン一台、格納庫の一部改築の補助。

佐野議員 4集落の連携は取れているのか。

農村政策課長 令和6年の春から共同で作業をする計画であると聞いている。

松井議員 まちの駅運営費で県補助273万円が入っているが、地域未来応援プロジェクト事業は何回

もトビイできるのか。

副町長 県の地方創生補助事業で、テーマが移住・定住・観光であり、池田町においては最終となる本年度内に終わるように使用しなければいけない。

富田議員 サイン看板工事で青看板8か所を整備とあるが、新設なのか既存の看板を入れ替えるのか。また谷口集落を通行せず岐阜県に行く標識への変更もするののか。
農村政策課長 看板工事は、既設の物に張り替える。変更する看板は、岐阜県側から福井市に向かう街道の看板を常安橋からお祭り広場前を通り、まちの駅を通るように誘導する標識に変更する。極力、民家が集中する稲荷や谷口集落内は通行しないように変更する。

佐野議員 道のオアシスフォアシーズンテラスの備品購入費2100万円の内容は、また、来秋以降に費用を追加しているが、なぜか。
農村政策課長 今回の予算は、厨房、事務所、飲食スペースの什器類、公園エリアの物品を中心に購入する。また運営後、冬に向けての必要備品予算は、状況を見て計上したい。

宇野一正議員 備品準備は、入居するテナントが決まっていなければ準備ができないのではないかと。

農村政策課長 現在テナント募集中であり、どのような飲食店の運営をするか分かっていないが、コールドテーブル、2層シンク、冷蔵庫、棚等で共通して必要な備品を設置する予定。その他に必要なものについてはテナントの事業者に準備してもらう。

清水議員 雪遊びについてですが、12月1日から3月20日まで公園エリアは閉鎖になるとしているが出

状況や迷惑行為を繰り返す方が入居した場合に再契約を防ぐため。また残りの敷地については、分譲ということまではまだ考えられていない。

清水議員 入居資格要件で、配偶者がいる人または婚姻を予定している人となっているが、入居後に離婚した場合はどうなるか。
総務財政課長 離婚などにより、入居要件から外れると基本的に退去していただく。ただ、お子様がおられ旦那さんが不幸で亡くなった場合などは、入居者と相談の上、居住の継続を検討する方針。

総務財政課長 離婚など

により、入居要件から外れると基本的に退去していただく。ただ、お子様がおられ旦那さんが不幸で亡くなった場合などは、入居者と相談の上、居住の継続を検討する方針。

ネスセンター、ボート倉庫隣の建物に設置予定。
佐野議員 施設の指定管理が池田屋になると、公園やトイレの管理の為、雇用者を増やさなければならなくなり、経営費増となる為、指定管理料を支払う事を考える必要があるのではないかと。

農村政策課長 全体的な費用は積上げ中であり、指定管理料は、今後計上する予定。

清水議員 備品のエアレジ、固定レジなど類似した物があるがどのように使用するののか。
農村政策課長 固定レジは飲食物販売場に設置。エアレジは事務所から離れた場所での精算に使用する。タブレットは、情報発信等に使用する計画。

宇野一正議員 屋外ステーションは、自由に使えるのか。
農村政策課長 自由に使用できる。イベント等で貸し切りとする。

農村政策課長 自由に使用できる。イベント等で貸し切りとする。

松井議員 テナントの年中無休というのは、町内業者の出店にはハードルが高いのではないかと。

農村政策課長 年末年始を除き、年中無休を目指して計画している。

**その他事項
新庁舎建設について**

〔質疑応答〕

岡村議員 木材確保の流れはどうかっているのか。また、新庁舎に使用するバイオマスは、冷房は効率が悪く、暖房から冷房に切り替えるにコストが高いと聞いているが、今後の進め方の方向性を伺いたい。

副町長 木材確保については、市場で買い付けた町産材は仕上げ製材加工後、池田町への納品まで製材業者の責任で保管するようになっている。

バイオマスについては、熱で冷房を作るとは効率が悪くコストがかかる。しかし池田町が目指す脱炭素

の取り組みをはじめ、また停電などの様々なリスク回避を考えながら検討していきたい。



岡村 祐 議員

一般質問

新規就農者の支援策は

問 池田町の主たる一次産業である農業について、喫緊の課題として農家の世代交代・後継者問題があります。担い手不足のほかにも、新規就農するにあたっての経済的負担も課題です。小規模から始めるといっても、収入が低くなります。大

規模になると当然ながら投資額が一気に大きくなります。昨今の光熱費高騰や物価高による機械設備の値段も上がる一方で、米価や畜産の価格は下がっています。重労働であることに加え、経済的に不安定なスタートとなると、就労意欲があっても現実的には踏みとどまってしまう。

池田町にとって農業は、単なる産業としてだけでなく、食・文化・田園風景とまさにシンボルであり、池田町の根幹です。また当然ながら観光や外部へのPRにも大きく影響しています。

就農者へ経済的な経営支援として、国や県の制度以外で、町独自の支援が薄く思われます。今後、池田町の農業を持続していくため、町独自の支援策をご検討であればご指示ください。

答 農村政策課長 現在、国が行う新規就

農者への支援体制としては、新たに経営を始める者に対して資金面を支援する「経営開始資金」、さらに経営発展を目指す者が機械や施設整備を行う場合に支援する「経営発展支援事業」などがあります。

農家の高齢化にともない、担い手不足が危惧されるなかで、将来を見据えた池田町独自の課題を検討した新規就農支援策は必要があると考えています。町が独自の支援策の検討を行う場合の重要な視点として、新規就農者個人への単なる経営支援だけでなく、池田町の特色ある農業を理解し、けん引することのできる農業経営者としての育成や、密接な関わりがある集落や地域との連携による農村の活性化を目的とした支援にすべきと考えております。

**会計年度任用職員の給与改定も
正規と同様に4月遡及を**

問 人事院勧告に基づき役場職員の給与改定では、会計年度任用職員も正規職員と同様に4月に遡って増額すべきでなかったか。4月遡及で増額した市町もあるが。

総務省は「会計年度職員の賃金引き上げについても正規と同様に」との通知を出している。国会での「会計年度任用職員」の4月遡及分を含む賃金

改定については地方交付税の増額で対応する」との総務大臣答弁もある。

答 会計年度任用職員の8割が女性であり、池田でも多くが女性。本来正規職員として担うべき多くの仕事が結果的に女性に任せられ、格差と雇用不安という実態はジェンダー平等にも逆行するものでないか。

答 総務財政課長

県内5自治体が会計年度任用職員の給与増額を4月に遡っている。遡及適用を行わない自治体は9市町。総務省通知は理解しているが、採用時お互い納得の上で決めており4月に遡って増額することはしなかった。条例改正が施行された時は、翌年度を待たずに給与の見直しを行う。町の会計年度職員51名中、女性は35名。採用時に性差はなくジェンダー平等には反していない。

**庁舎建設材の伐採・製材・保管場所などの
全体計画は**

問 庁舎建設に使う町産材の伐採、集材・製材・保管場所などについて、全体計画と進展具合はどうなっているのか。実証実験を踏まえてもヘリコプターの搬出作業はやるべきではないか。

答 木望の森づくり課長 庁舎建設の主要部材の一部となる町行造林地の進捗は、9月に業務発注、10月に選木、11月に480本を伐採、現在、葉枯ら

し乾燥中。またヘリコプター実証実験では、林道や作業道が無い奥地の優良材を搬出する際、各規制はあるが、短期間で搬出が出来ることや大型トラックが乗り入れ可能な場所を発着場とすることで比較的優位になる利点が確認できた。

結果、奥地からの搬出にヘリコプターは選択肢に入れつつ、近年の社会情勢や木材価格を考えるとされたが、感染症対策関係の専門家の意見も踏まえて、7月に老人クラブ会長や社協と相談し中止を決めた。8月に老人クラブ役員会で了解してもらった。

「ごちそう券は飲食を自宅で祝ってもらうためのもので、移動が困難な方には販売車も利用できるようにした。

一般質問

いっばん しつもん



宇野 邦弘 議員

**敬老祝い
「ごちそう券」について**

問 敬老会中止は関係者の十分な納得の下で決めたのか。配られた「ごちそう券」の使える店が魚商組合・酒販組合・コテいけ号の7店舗に限定したのはなぜか。

答 保健福祉課長 2月の老人クラブの役員会では開催希望が出

**そばの郷前の駐車
スペース確保について**

問 そばの郷前の駐車場確保についての進展はどうか。

答 農村政策課長 当該用地において、所有者による新たな事業計画もあり部分的に借りることになるので契約しない。代わって別の土地を借り受けて契約し、駐車場として活用することとしている。



▲市場で競りに出された池田町産杉

と林道や作業道が有り、再造林できる山林での木材生産が現実的であると考える。

**大本での
広場整備などについて**

問 先日、部子川ダム対策委員会が大本での広場と駐車場の整備、千代谷や大本の神社の補償や合祀に関わっての問題などをダム事務所に要望した。広場整備は龍双ヶ滝の観光にも有効。町としても国に要望してほしい。

答 町土整備課長 要望は承知しているが広場整備等は平成26年のダム水源地域整備計画には登載されていない。湛水地域の整備は管理面でも問題があり得策ではないと考える。

問 整備計画の変更はできるはず。町としても国に求めていくべきだが。

答 町土整備課長 変更は可能だが国県との調整が必要であり、広場の管理面、活用頻度など課題も多く検討が必要と考える。



清水 龍司 議員

高齢者向け住宅を拡充しないのか

福祉施設や医療機関で働く方々には、日々対応の素晴らしさに敬意と感謝を表しますが、それでも高齢化は進み、お年寄りの生活不安は日々増していく。高齢化比率も高くなり、高齢者住宅希望者は増える可能性がある。

すく、災害救急対応もしやすい。また、支援を必要な方が集まることで、日々の支援業務も効率よく行なうことができる。

うなことから、現段階で高齢者向け住宅を拡充する予定はない。

池田町における高齢者住宅事業は、通年居住できるサービが入り高年齢者住宅「安寿ホーム」と冬期間の半年居住できる高齢者生活センターの2つ。安寿ホームの待機者は現在15名。ただし、ショートステイなどサービスを利用し問題なく在宅で生活が維持できている。空きが出た際、まだ生活できるからと入居を先送りされる方も多い。

今年には暖冬と言われ、除雪などの不安が少ない。空いていると言いつて需要がないとは考えられない。今対策しなければ財政にも、福祉関係者たちの仕事にも今後影響を与えることになる。

保健福祉課長

保健福祉課長

高年齢者生活福祉センターは例年申し込みが超過する。入居出来なかつた方はケアマネージャーやご家族と包括支援センターが連携して、介護保険サービス等を利用して生活を維持できている。この冬は申し込みが少なく一室空いている。このよ

今後、池田町の高齢化率は引き続き上昇する。しかし、高齢者の母数は減少。介護給付費も現在がピークと見ており今後減少する。このようなことも踏まえ現段階では高齢者向け住宅を拡充する予定はない。1日でも住み慣れた地域、家で暮らせるよう寄り添う保健事業を実施する。ただし、

フォーシーズンテラス

サイトは公開されているフォーシーズンテラスの2022年企画提案発表から1年が経ち、周辺環境整備や内装に変更はないのか。またフォーシーズンテラスの飲食テナントの募集に関して、なぜ事前説明や内覧会を行わないのか。せめて分かりやすい図面や写真を提供するべき。

農村政策課長

農村政策課長

現在ホームページに掲載している図面は、2022年5月末のフロアプラン提案事業者から選定したものの。業者と役場で要求水準書をもとに協議し、現段階では新ポイラーとドックランは外し、他施設エリアの機能は確保しながら、実施設計を行っている。出店意向を募集する前に説明を行わないのかについては、池田町フロア方式の実施に関するガイドラインにおいて、募集後必要に応じ説明会を実施するとなっているため。

実際に見てみないと決断は難しい。飲食だと設備や営業で必要なもの全て置けるのか広さの確認も必要。町で準備するものは一覽で書かれていないが、自分で準備しないといけないものもある。その点考えるとテナントが見える状態もしくは図面公開は必要。

農村政策課長

現場を見るもしくは情報をお知らせした方がよい。

トンネル開通後の行政課題

冠山トンネル開通して、行政視点として見えてきた池田町側の課題にはどのようなものが考えられるか？

農村政策課長

まず、来訪者が目的地までにスムーズに運行できる体制づくりを考えると。そのため、町道における目的的方向を示す看板、施設を示す白看板、また、役場駐車場と町の駅こつてコテ池田の駐車場にある町全体のマップの改修に関する予算を上げ。また、今回の道路サイン看板の改修は、来春からの円滑な交通に寄与できるように、冬季間に整備をする。また池田町で



丸石 純一 議員

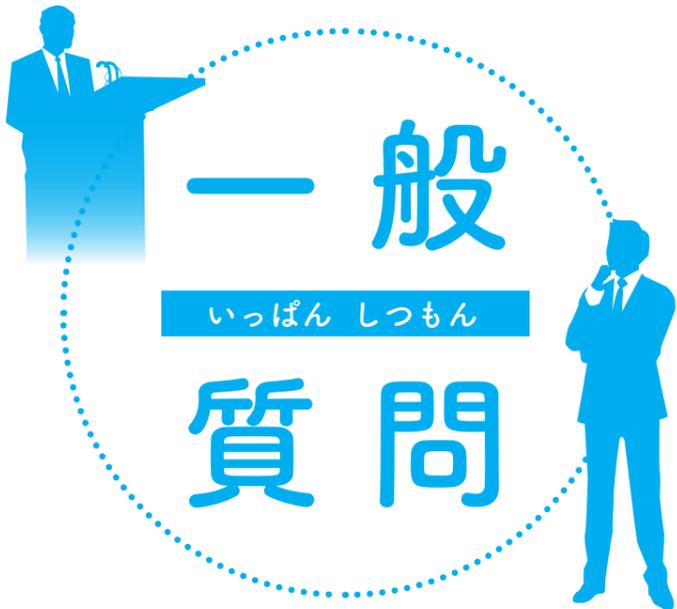
池田町のプロポーサル方式の実施に関するガイドラインでは募集期間の定めはない。その為、建設コンサルタント業務等におけるプロポーサル方

式及び総合評価落札方式のガイドラインにおける会員公募型を参考とした。12月13日からの意向申し込み、最終の契約締結は、令和6年2月22日としております。この間、約70日間の期間を提示しており、募集審査における公平性、競争性は確保されているものと考ええる。なお、12月13日から出店の申し込みがあれば、意向を提出いただき、建設中ではあります。建設内

アドベンチャーボートの今後は？

アドベンチャーボートについて、現在運営管理はだれが行っているのか？ 今期河川メンテナンスで運航中止になっていたが、来年以降開始予定の判断や受付は、どのようなになるのか？

一般質問 いっぱん しつもん



農村政策課長

農村政策課長

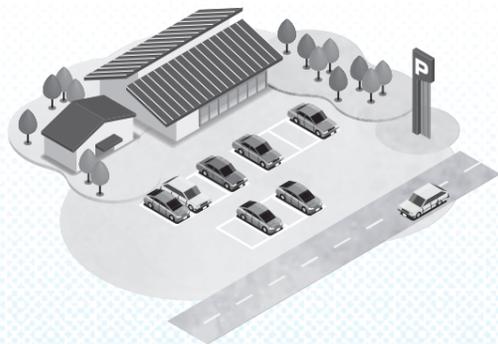
トンネル開通を受けて町として新たな支援策の創設を

今後、活力ある町民有志の集まりや、各種団体、商工農業者などが、中京、東海方面にもアプローチをするようなイベントや企画、近隣市町と連携しての企画、交通量が増えたことによる、ゴミの増加を抑制するような企画や、交通トラブルを防ぐための看板作成など、大勢のお客さんを受け入れる準備をしていきたいとなった場合、町としてソフト面支援の新たな補助金の創設や、各種団体の計画により、予算

の増強などを検討する必要があると考える。町としてどのように考えるか町長に伺う。

農村政策課長

町としては、これまでの団体への補助、集落活動への支援の中で対応していきたいと考えている。交通安全については、警察や交通安全協会と連携して、事故のない安全なまちづくりに取り組むみたいと考えている。ご相談につきましては、農村政策課が窓口となる。



池田町議会視察研修報告



- 実施日 令和5年11月15・16日
- 視察先 長野県大桑村、木曽町、朝日村

池田町議会の今後のあり方や開けた議会活動の取り組みをはじめ、新庁舎建設や観光DMOをテーマに視察し研究することで、池田町および議会の発展に寄与することを目的として視察を行ってきました。

3町村ともに女性議員が活躍しており、議会運営においても「議会モニター制度」「議会報告会」「住民との意見交換会」など、開かれた議会活動が積極的に開催されていました。しかし、開かれた議会を目指しているものの議員のなり手不足や意見交換会時の参加者の固定化など課題も抱えていました。我々池田町議会においても議会に対する住民意識の向上を目指さなければ、なり手不足と共に議会の存在意義さえ無くなっていくと考えます。

新庁舎建設に関しては、視察したどの町村も近年完成したばかりで、地元産材の活用やスペースの有効活用が図られていました。

大桑村庁舎では、図書館が併設されておりまして、木曽町庁舎ではコンパクトだが分かり

易い庁舎設計となっており、議場が大会議室も兼ねていた。中でも朝日村では建材となる木の寄贈を住民から募ったり、住民の要望によりミニスーパーを誘致するなど、親しみやすい庁舎作りをしているところが特異でありました。

観光DMOについては、設立当時は税金や補助金に頼らない「自走するDMO」を目指していましたが、コロナ禍の影響により観光客が激減。結果、思っていた様な取り組みができていないと伺いました。

今回の視察を受け、今後、池田町議会でも更に知識や理解を深めるとともに、池田町の未来を議論していき、町の発展や住民の生活向上に尽力することが我々の使命だと再確認した視察となりました。



▲大桑村議会との意見交換会の様子



▲木曽町庁舎内部の見学の様子

議長	発行責任者	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報特別委員会
宇野 一正		丸石 純一	富田 重弘	岡村 祐	清水 龍司	宇野 邦弘	



編集後記

元日から能登半島沖地震が発生し、混沌とした年明けとなりました。先ずは亡くなられた方にお悔やみ申し上げますとともに、被害に遭われた方にお見舞い申し上げます。池田町も平成16年に福井豪雨による水害を罹災しているのので、自然災害への恐怖や反応は大きいでしょう。ましてや隣県で起きていることなので余計に身がこわばります。災害の経験を忘れずに、あらためて身を引き締めて自助力を高めて行きたいと思えます。今年も一年よろしくお願いたします。

(岡村 祐)